

※注意：このシートは横浜市の
ホームページ等で公開されます。

まちづくりコーディネーター 登録シート（閲覧用）②

| 支援専門分野に関する支援の実績等 | 支援専門分野の内容・支援可能なテーマ | 地区名 | 時期 | 支援内容等 ※ 支援の成果も含め、できるだけ具体的にお書きください。 (200文字以内かつ9行以内) |
|------------------|--------------------|-------------------------------|-----------------------|---|
| | 防災まちづくり | 中山商店街での共同ビル化 中山商店街の活性化と安全性 | 平成3年～5年 平成20年～23年 | 商店街活性化とオープンスペース確保のために複数の地権者を取りまとめて複合用途建物を設計・監理を行った。共同化することにより道路面にオープンスペースが確保できた。 顧客買い回り時の安全を確保するために、交通の整理を検討し、街づくり委員会を行政を交えて行った。活動の結果バスが1方通行になり、格段に安全になった。 |
| | 地域の防犯とアート | 緑区新治中部地区連合 | 平成9年～令和3年 | 地域の防犯活動の一環として、地区内小学校に協力依頼し、警察と協働として子供たちに防犯ポスターを描いてもらい、地域内の掲示板に年間を通して掲示し、防犯活動と住民のコミュニケーションに活用している。毎年度区役所・警察署の表彰もある。 |
| | コミュニティの再生（団地再生） | 緑区M団地 港南区T団地 | 令和元年～2年 平成30年～令和元年 | 40年を超える団地で、住民の高齢化や世代交代が課題となる中で建物の改善と多世代の住みやすい団地を考えるセミナーを5回開催した。 40年を超える団地で建て替えの機運が高まっているなかで、手法と段階、コミュニティについて検討会の中でアドバイザーを務めた。 |

自身の考えるコーディネーターの役割とまちづくりのポイント（500文字以内）

※ 居心地の良い街を目指して

暮らしと共に時間の経過は早く、街の景観や住人の年齢構成も変化して、住まう経過と共に、快適さの裏側に不便さも混在してきます。

コミュニティの醸成

暮らし易い、居心地の良い街であるためにコミュニティの醸成は欠かせません。
若い世代から高齢者世代までが、程いい距離感で支え合える共通認識を維持するために、ハードな改善、ソフトな改善、その中間点など、理解と提案をコーディネーターとして支援し、どんな時代にも居心地の良い街に住めるようにしたいものです。
街の景観や、住む人々の笑顔は地域だけではなく来訪者にとっても財産です。

地域を愛するコミュニティづくり

買い回り客と共に持続性のある商店街の醸成に、ハード面・ソフト面でコーディネーターが果たす役割は非常に大きいものと考えています。商売の根底は、人を愛し、街を愛することです。地域を愛し、地域と共に生きるまちづくりの姿勢を育てること。魅力ある景観と人の交流が商店街の活性化を維持・醸成して魅力を造ります。ハードなまちづくりと、問題に直視したコミュニティを育てることが大切です。